

# 公明党せたがや区議団レポート

## 世田谷区の震災対策

スタンドパイプの活用で初期消火に威力発揮

### 今まで?

#### 拠点給水方式

震災時、地域の給水拠点に住民が水を取りに行く方式。世田谷区では駒沢、和田堀、玉川、大蔵の各給水所。砧浄水場、砧下浄水所と区立こどものひろば公園、区立葭根公園、都立祖師谷公園、区立中町2丁目公園に応急給水槽があり、震災時に水を提供できます。

## 消防栓から飲料水の確保めざす

平成24年6月13日、第2回定例会の公明党の代表質問で、水道水本管につながれている「消防栓」に着目。火災時の初期消火に威力を発揮する「スタンドパイプ」を活用し、飲料水を直接住民に供給する仮設の給水方式を提案、実現をめざしています。

### 今回の提案!

#### 仮設給水栓方式

給水拠点に加え、世田谷区内にある約9,000の消防栓から周辺の立地条件等を考慮して、選定された箇所、ないし災害時に使用可能な箇所に、スタンドパイプによる仮設の給水栓を取り付け、直接住民への給水を行う。より近くの場所で、水を提供することが可能となります。



### スタンドパイプとは?

スタンドパイプとは、火災発生時に消防栓の水圧を利用する消火器具で、組み立てれば、いつでもどこでも消火活動が出来ます。消防車が入れないせまい道路の地域でも、消防栓があれば、スタンドパイプをつないで放水可能であり、取付も容易です。

### スタンドパイプの整備状況

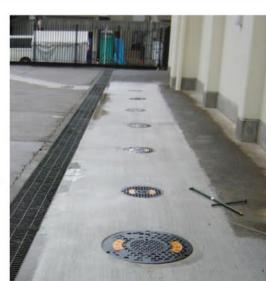
世田谷区では、今年度27か所のまちづくりセンター等に配置予定。また、町会自治会57か所に配置済み。

防災訓練でスタンドパイプを活用した、仮設給水栓の設置の様子



### マンホールトイレを整備

世田谷区では、災害時に断水等で水洗トイレが使用できなくなった場合に備え、災害用マンホールトイレの整備を進めています。今年度中に、小中学校、累計76校。区立公園等58か所に整備拡大します。



### 災害時のトイレを確保